SHIIBA-VILLAGE SIGHTSEEING BROCHURES AND MAPS

ようこそ、椎葉村へ。

民俗の歴史と伝説、そして水と緑を感じ自然が描く美しさに魅せられる。

椎葉村マスコットキャラクター　おつるちゃん

椎葉村の自然 nature

九州脊梁山脈を成す急峻な山々と緑の森
清冽な流れと湧水が潤す
椎葉村の豊かな自然を感じて。

八村杉 Yamura-sugi (Japanese cedar)

樹高54.5m（国内2番目）幹周り19m（国内4番目）。十根川神社境内にあり、元久年間に椎葉を訪れた那須大八郎が手植えしたと伝えられる別名「十根の杉」。十根川神社が八村大明神と呼ばれていたためこの名でよばれるように。国指定天然記念物。

MAP→D3

大久保のヒノキ Okubo no Hinoki (cypress)

八村杉のある場所より東、標高700mの山腹に位置する大久保地区にある。樹高32m、幹周り9.3m、推定樹齢は約800年。複雑に絡み合った枝は東西32m、南北30mにも及び、その壮観な姿は圧倒的な存在感を誇っている。国指定天然記念物。

MAP→D3

松尾の大イチョウ Matsuo no Ohichyo(gingko)

松尾集落でかつて庄屋を務めた松岡家屋敷内にある巨木。樹高31.2m、根周4.98m、推定樹齢は約700年。根元に向かって大小15余りの乳垂が下がっている。県指定天然記念物。

MAP→E3

白水の滝 Shiramizu Fall

村道椎葉～五家荘線向山にあり、段々と岩を伝い落ちる様は野趣に富んでいる。その昔、滝の上流に平家の残党が陣を構え、食事の準備にこの川で米をといだ折、とぎ汁が滝を流れ真っ白に見えたことが「白水の滝」の名の由来。

MAP→C3

大河内原生林 Virgin Ookawauchi Forests, Shiiba Research Forest, Kyushu University

手つかずの自然が残るこの原生林は九州大学の演習林でもある。森林浴にも最適な森だが立ち入り禁止エリアもあるので要注意。

MAP→D4

扇山 Ougi-yama Mountain

椎葉を代表する標高1661mの山。五ヶ瀬町からの霧立越ルートを南下した九州山地国定公園のほぼ中央に位置し、ブナやヒメシャラ、ミツバツツジが生息し頂上付近にはシャクナゲの群生地が広がる。松木登山口から登ると8合目付近に山小屋がある。

MAP→C3

シャクナゲ

十根川重要伝統的建造物群保存地区 Tone River, Preservation District for Groups of Historic Buildings

椎葉特有の建築様式の民家やそれを囲む石垣、山林の豊かな緑が美しい国指定の景観保存区。

MAP→D3

女神像公園 Megami-zou koen Park

上椎葉ダム湖「日向椎葉湖」を一望出来る景勝地にある。ゆったりとした時間が流れ季節毎の花々も美しい。公園の一角には、歴史的大事業であった上椎葉ダム建造の際に犠牲となった関係者の霊を慰める慰霊碑が建立されている。

MAP→D3（詳A5）

上椎葉ダム Kamishiiba Dam (Hyuga Shiiba Lake)

昭和30年に完成した日本で最初のアーチ式ダム。「新平家物語」の作者吉川英治氏に日向椎葉湖と命名されている。水を湛えたダム湖を囲むように春は桜、秋は紅葉が彩りを添え、季節毎に豊かな表情をみせる。

MAP→D3（詳A5）

【キャンプ場案内】

ひえつきの里キャンプ場

ダム湖百選に選ばれた椎葉日向湖の畔にある。雄大なロケーションが素晴らしい場内には、コテージやアスレチック遊具、珍しい五右衛門風呂などもあり施設も充実。

MAP→D3

■施設概要
テントサイト／林間広場／管理棟／五右衛門風呂／コテージ／プール／炊飯棟
○ご利用期間:4月～10月
ひえつきの里キャンプ場:椎葉村大字下福良字桑弓野 TEL／0982-67-2722

矢立高原キャンプ場

宮崎県と熊本県の県境の国道388号線沿いにある。市房山を望む高原の清々しい開放感が心地よく、近くを流れる小川では釣りや水遊びも楽しめる。

MAP→C4

■施設概要
テントサイト／イベント広場／コテージ／オートキャンプ場／管理棟／温水シャワー室／炊飯棟
○ご利用期間:5月～10月
矢立高原キャンプ場:椎葉村大字大河内字矢立 TEL／0983-38-1440

［問い合わせ］一般社団法人 椎葉村観光協会　TEL.0982-67-3139　FAX.0982-68-7031

尾前渓谷 Omae-keikoku Valley

九州中央山地国定公園でもある耳川源流に位置している。豊富な水量を誇る清流にはヤマメ、ニジマスなどが生息し渓流釣りのポイントとしても有名。上流には深くゆるやかな流れの「瀞(とろ)」があり、神秘的な美しさを湛えている。

MAP→C2

荒河内の滝 Arakouchi Fall

大河内原生林の中にある滝。豊富な水量を誇り河川や滝に点在する巨岩・奇岩をも押し流すような激しい様は野趣に富んでいる。

MAP→D4

御神の滝 Goshin Fall

大河内癒しの森（九州大学宮崎演習林の保護林）内にある落差30mの滝。古くから地元の人達に信仰の対象として崇められてきた。春は山桜、秋は紅葉と四季折々の自然に彩られ、特に寒さの厳しい冬は滝壺ごと純白に凍り付き、荘厳なまでの美しさで訪れる人を魅了する。

小崎川流れるプール Kosaki-gawa River

自然の川に一部段状の人口護岸を設置しただけの天然プール。川遊びやカヌー・バーベキューなどを楽しむことができる。

MAP→C3

仲塔渓谷 Nakatou-keikoku Valley

国道256号を五ヶ瀬方面に向かう途中、国見トンネル手前にある。春はミツバツツジ、秋は紅葉など折々の季節に彩られる渓谷美は村でも随一。渓谷の周辺にはいくつかの湧水地が点在している。

MAP→D2

落水の滝 Otimizu Fall

国道265号から佐札地区に入った落ち水谷にある。三段からなる滝は全長70m。古くから地元で「若返りの水」と呼ばれ、正月に汲む若水として大切に守られてきた。水が涸れないように「ごうさま」と呼ばれる水神様が祀られている。

MAP→D3

渓流釣り Fishing in a Mountain Stream

県内屈指の渓流釣りのポイントとして知られる椎葉村。村を流れる耳川・一ツ瀬川にはヤマメ・ニジマスなどの天然魚が生息しており漁の解禁とともに多くの釣り客が訪れる。

■ヤマメ釣りの解禁日／3月1日

耳川・一ツ瀬川での釣りには各々遊漁証の購入を！

椎葉村の特産品 local products

気どらない、飾らない
椎葉産まれのとっておきを。

椎葉そば

山林が98%を占める椎葉村で栽培が盛んなそば。品種改良などを行っていない小粒な実は風味が良く、粘り強いのが特徴。コシのある手打ち麺もオススメ。

椎葉の秘蜜

数少ない日本ミツバチを守りながらその蜜を採取する昔ながらの伝統養蜂。貴重な地蜜を守るため協議会を結成し出来上がった村自慢の商品。

姫伝説（梅酒）

椎葉村産「梅」を100%使用。梅の旨みを十分引き出した酸味の効いた後味スッキリの梅酒です。

つるとみ漬

椎葉村産の6種類の野菜を自家製の味噌にじっくり漬け込んだ懐かしい味わいの漬け物。

つゆ一番

椎葉特産の干し椎茸をたっぷり使った香り豊かなつゆ。麺料理や和食の隠し味に浅漬けの素にも使える万能調味料。

乾燥椎茸

宮崎県内でもトップレベルの品質を誇る椎茸。高地で育った椎茸は肉厚で豊かな香りが特徴の特選品。

焼きえのはのかんろ煮

えのはとは山女魚。炭火でじっくり焼いた後、独自の製法で甘辛く味付けしやわらかく仕上げた自慢の逸品。ご飯にも、酒の肴にも。

菜豆腐

椎葉の特産品の中でも一番人気の名物豆腐。菜の花や藤の花を入れて催事などで振る舞っていたのがはじまり。季節の野菜がたっぷり入った歯応え豊かな豆腐は冷や奴でも湯豆腐でも良し。

ひえつき浪まん

白あんに干し柿を加えて、生地でひとつひとつ包み、焼き上げています。他にも季節限定（10月～12月）で、椎葉産の栗と小豆を使用したものもあります。

椎茸佃煮

椎葉産小粒どんこを煮詰めてあります。薄味に出来上がっているのでそのままでも美味しくいただけますが、細かく切って和風サラダやちらし寿司でも美味しくいただけます。

柚子こしょう

天然の柚子と胡椒（唐辛子）で作るピリリと爽やかな辛さの調味料。村内各地区で手作りされていて味もさまざま。赤唐辛子、青唐辛子どちらも食欲をそそる鮮やかな色合い。

特産品のお買い物とお食事はコチラ

椎葉村物産センター「平家本陣」

■住所／〒883-1601宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良509-23
営業時間／9:00～18:00
定休日／年末・年始（12月29日～1月3日）
TEL／0982-67-3140
FAX／0982-67-3144
http://www.shiibakanko.jp/
MAP→D3

椎葉村の歴史 history

語り継がれる平家の物語と
受け継がれていく山の暮らし
秘境の里に息づく歴史を辿って。

平家伝説 Heike Legend

寿永四年（1185）壇ノ浦の合戦に敗れた平家一門は、追っ手を逃れ山深い椎葉の地へ落ち延びた。日々の暮らしもままならぬ残党らは、この地で村人たちの助けを得ながら穏やかな暮らしを送るようになる。しかしそこへ鎌倉より源頼朝の命を受けた那須大八郎が平家残党の討伐にやって来る。大八郎は落人らの貧しい暮らしぶりを目の当たりに追討を断念。鎌倉には残党討伐を果たしたと報告し、自らもこの地で暮らすようになる。大八郎は平家ゆかりの厳島神社を勧請し、村人となった落人たちに農耕の手ほどきをするなどして双方は互いに心を交えていった。かつては都で栄華を誇った平氏、椎葉の人々の風習や言葉には落人らが残したその雅な名残が微かに感じられる。

十根川神社 Tonegawa Shrine

古くは八村大明神（やむらだいみょうじん）と呼ばれており、縁結びの神様として崇敬されている。村内に伝わる古文書には、椎葉の山里に隠れ住む平家残党への追討使那須大八郎が、最初に陣を構えたのが十根川地区であり、陣屋を椎の葉で葺いたため「椎葉」の名が起こったと記されている。

MAP→D3

椎葉厳島神社 Siiba-Itukusima Shrine

壇ノ浦の戦いで破れた平家討伐の命を受けた那須大八郎が、椎葉山中で暮らす平家残党の姿を深く哀れみ、平家一族が拝した厳島神社の守護神を歓請し建立したもの。

MAP→D3（詳A5）

御池 Miike

平家の残党が本陣を置いた場所。そののち山一面に咲いたこぶしや桜の花を、源氏の大軍が掲げた白旗と見間違えると、勝ち目無しと見た残党らはこの地に果てたと伝えられる。また、聖地として崇められており、日照りが続くと雨乞い祈祷などを行ったとされる。

MAP→C3

鶴富屋敷 House of Tsurutomi

鶴富姫と那須大八郎の恋物語の舞台。大きく太い材料を使用した椎葉独特の寝殿造りが特徴的。建立に関して明確ではないが建築技術から約300年前のものと推察される。

MAP→D3（詳A5）有料

鶴富姫の墓 Princess Tsurutomi Hime's Grave

鶴富屋敷裏手の東側にある那須家代々の墓地の中にひっそりと立っており小さな看板が目印。方形の石を重ね上部に宝珠を置いた高さ1mほどの多宝塔で、平安から鎌倉期にかけて普及した形式だが建立年代ははっきりしていない。風化によって丸みを帯び、苔むした様相が時代の経過を静かに物語っている。

MAP→D3（詳A5）

焼畑の歴史 Slash and Burn (Yakihata)

椎葉村で伝承される焼畑は縄文時代より伝わる古代農法で村では「コバ」と呼ばれている。夏に雑木を刈り乾燥させた後に火を入れ、焼いたあとにソバを栽培。また秋に刈った雑木を乾燥させて冬越しさせてから焼いたあとにはヒエを播く。ヒエはかつて村の人の主食であったが、他にもアワやダイズ、アズキなどの雑穀類が栽培されてきた。土地を四年間使用したら地力が衰えるため、10年から50年放置し元の雑木林に戻す。焼土より土壌を改良するだけでなく、雑草や病害虫の防除効果もあるため、焼畑は肥料や農薬を使わない自然に優しい農法としても知られる。現在国内で行われている例は数少なく、椎葉村では焼畑の伝統を後世に残すための取組なども行っている。

Point! 鶴富姫と那須大八郎 Princess Tsurutomi Hime and General Daihachiro Nasu

今から八百年前、平家追討に椎葉村にやって来た那須大八郎は、落人らの質素な暮らしぶりを見て討伐を断念しこの地で共に暮らすようになる。やがて平家方の姫「鶴富」と恋仲となり結婚するが、都へ戻れとの命が下る。身重の姫を置き村を去る大八郎は「男子が生まれたら私のふるさとに、女子だったらこの地で育てるがよい」と言い残し一本の刀を託す。女子を出産した鶴富姫はのちにその娘に婿をとり、「那須」の姓を名乗らせたという。

鶴富姫化粧の水

鶴富姫が化粧に使った水。大八郎に汲んであげたことが二人の恋の始まり。

MAP→D3（詳A5）

ひえつき節発祥の地 Hietsuki Bushi (Hietsuki tune)

「ひえつき節」は、主食であったひえを搗く時に調子と疲れを癒すために唄われた労働唄です。

壇ノ浦の戦いから800年を記念し、昭和60年から「ひえつき節日本一大会」が毎年9月第2土・日曜日に開催されています。

MAP→C3

庭の山しゅうの木　なる鈴かけて
鈴の鳴るときゃ　出てござれョ
鈴の鳴るときゃ　何と言うて出ましょ
駒に水やろうと言うて出ましょョ
和様平家の公達のながれ
おどま追討の那須の末ョ
那須の大八　鶴富おいて
椎葉たつときゃ　目に涙ョ
ひえの五升どま　唄でもつくが
三斗五升から　杵でつくョ

椎葉民俗芸能博物館 Shiiba Village Museum of Folklore and Art Performance

椎葉村に受け継がれてきた儀礼、慣習、民俗文化を紹介した博物館で平成9年4月に開館。地上4階、地下1階で昔の村の民家風の造り。平家落人伝説や村の季節行事、村内に伝わる神楽などを写真や民具、祭礼具等の展示を通して紹介。また九州・アジアの民俗芸能についても幅広く紹介している。

[開館時間]
9:00～17:00
★休館日／年末年始（12/28～1/3）
[問い合わせ]
TEL／0982-68-7033
FAX／0982-68-7031
E-mail shi-ed78@m-link.jp

MAP→D3（詳A5）有料

Point! 民俗学の父「柳田國男」ゆかりの地 Shiiba Village and Kunio Yanagita

日本民俗学の創始者として知られる柳田國男。明治42年著の「後狩詞記」（のちのかりことばのき）は日本民俗学について記した最初の出版物とされ、その殆どを椎葉村の狩猟民俗に関する内容が占めている。執筆にあたり、本村を訪れた柳田は当時の村長中瀬氏の屋敷に滞在し、村内で狩猟習俗に関する調査を行った。中瀬氏の屋敷は「日本民俗発祥の地」として当時のまま残されている。

MAP→C3

国指定重要無形民俗文化財 椎葉神楽 Shiiba Kagura

27ヶ所で異なる特徴を備え伝わる椎葉神楽。「太夫」と「舞い手」「せり歌」による幻想の祭が始まる。

毎年11月中旬から12月下旬にかけて行われる夜神楽で村内27地区で保存伝承され、地区の住人たちが総出で舞いを奉納する。地元では「冬まつり」「年まつり」とも呼ばれ、椎葉の村人にとって神楽は一年を締めくくる祭りでもある。神楽を舞う場所は本来民家で、神楽宿と呼ばれ、屋内に神楽の舞所となる御神屋（みこうや）を設け、正面に神霊を迎える高天原（たかまがはら）を立て、周囲に注連やえりものなどを飾り付ける。演目は33番とよく言われるが、必ずしも一定したものではなく、20数番から40番近くまでと様々。特色としては、村で伝承される狩猟や焼畑耕作の要素も色濃く、猪や鹿を奉納したり、アワや大豆などの雑穀を用いる神楽も多く見られ山の生活を表している。また唱教（しょうぎょう）と呼ばれる唱え言も重要で、神楽や採物の謂われを語るものや、平安後期に歌われた歌謡なども含まれている。各地区によって舞いも衣装も太鼓のリズムも多種多様。舞いの一つ一つが昔のままの態様を残していることから、平成3年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

『椎葉神楽』各地区の場所は中面の地図をご参照ください。
※地区によっては、日程の変更もありますので、事前に確認をお願いいたします。
（お問い合わせ先）椎葉民俗芸能博物館　電話0982-68-7033

神楽鑑賞の心得

神楽は集落の神聖な例祭です。地元のお祭りに参加する気持ちを持ちましょう。
● 地元では、一人あたり供物（焼酎2～3升）かお祝い（3～5千円）を持っていくのが習わしです。
● ビデオや写真の撮影は他の方の迷惑になることもあるので事前に保存会・神楽宿の了解を得て下さい。
● 10人以上の団体の方は事前に保存会に連絡をし許可を得てから見学をしてください。

椎葉村までのアクセス

＜自家用車の場合＞

- **福岡市から 3時間15分**：九州自動車道 117km 1時間30分 → 御船I.C → 国道445号 30km 35分 → 山都町矢部 → 国道218号 28km 30分 → 山都町馬見原 → 国道265号 32km 40分 → 椎葉村
- **熊本市から 2時間**：国道445号 42km 50分 → 山都町矢部 → 国道218号 28km 30分 → 山都町馬見原 → 国道265号 32km 40分 → 椎葉村
- **大分市から 3時間10分～3時間45分**：
  - 国道57号線・国道265号 85km 2時間 → 熊本県高森町 → 国道265号 24km 30分 → 山都町馬見原 → 国道265号 32km 40分 → 椎葉村
  - 国道10号線・県道326号 110km 2時間 → 延岡市 → 国道218号線・国道388号 44km 40分 → 美郷町西郷区 → 国道327号 22km 30分 → 諸塚村 → 国道327号 24km 35分 → 椎葉村
- **宮崎市から 2時間40分～3時間10分**：
  - 国道219号 17km 30分 → 西都市 → ひむか神話街道 52km 1時間20分 → 美郷町南郷区 → 国道10号 32km 50分 → 椎葉村
  - 国道10号 70km 1時間40分 → 日向市 → 国道327号 73km 1時間30分 → 椎葉村
- **延岡市から 2時間（高千穂経由）**：国道218号 50km 50分 → 高千穂町 → 国道218号 20km 30分 → 山都町馬見原 → 国道265号 32km 40分 → 椎葉村
- **鹿児島市から 4時間05分**：九州自動車道 96km 1時間50分 → 人吉I.C → 国道219号 34km 50分 → 水上村 → 国道388号 31km 50分 → 大河内 → 村道大河内桑の木原線 16km 35分 → 椎葉村

＜公共機関の場合＞

- **宮崎空港駅から 4時間20分**：JR日豊本線 1時間50分 → 日向市駅 → 宮崎交通バス 2時間30分 → 椎葉村

＜最寄りの空港・駅から＞

- **熊本空港**：レンタカー 1時間50分／バス 1時間30分 → 山都町馬見原 → タクシー 40分
- **熊本駅**：熊本交通センター → 熊本バス 2時間 → 山都町馬見原 → タクシー 40分／レンタカー 1時間50分

椎葉村 しいばそん

交通に関するお問合せ

バス／宮崎交通：0985-51-5153
タクシー／鶴富タクシー：0982-67-2148

バス時刻表

ロックタウン日向	塚原（諸塚村）	上椎葉
ー	06:55	07:56
09:21	10:55	11:56
15:01	16:32	17:33

上椎葉	塚原（諸塚村）	ロックタウン日向
06:50	07:54	09:24
08:30	09:34	11:04
12:50	13:54	15:24
18:00	19:04	ー

距離早見表

観光地までの距離が一目でわかる 役場から　1km以内　5km以内　10km以内　20km以内　21km以上

椎葉村役場から：

- 仲塔渓谷 13km・20分
- 尾前渓谷（耳川源流） 15km・35分
- 十根川重要伝統的建造物群保存地区 12km・15分
- 白水の滝 20km・37分
- ひえつき節発祥の地 10km・25分
- 扇山松木登山道入口 18km・50分
- 十根川神社 12km・15分
- 八村杉 12km・15分
- 大久保ヒノキ 14km・23分
- 焼畑伝承地 25km・45分
- 女神像公園 2.3km・5分
- 椎葉厳島神社 700m・2分
- 鶴富屋敷 600m・2分
- 御池登山道 32.4km・1時間15分
- 上椎葉ダム 2.5km・6分
- 椎葉民俗芸能博物館 700m・2分
- 落水の滝 1.6km・3分
- 椎葉村物産センター平家本陣 4.8km・5分
- 松尾の大イチョウ 16km・30分
- 不土野渓谷 20km・40分
- 柳田国男ゆかりの地 12km・18分
- ひえつきの里キャンプ場 16.5km・30分
- よこ井水 9km・20分
- 小崎川流れるプール 12km・18分
- 荒河内の滝 18km・40分
- 大河内原生林（九州大学宮崎演習林） 18km・40分
- 杣山願事件供養碑 14km・23分
- 矢立高原キャンプ場 30.7km・60分

Welcome to SHIIBA-VILLAGE.

ようきたなせい 椎葉村

春　夏　秋　冬